

株式会社緑水亭 環境活動レポート 2009年度



風がやさしく吹きわたる、湖畔のリゾート

【緑水亭環境方針】

「環境理念」

顧客満足の精神

感謝報恩の精神

地域発展の精神

利益貢献の精神

我々は琵琶湖のほとりに位置する宿として、お客様第一主義をつらぬき、すべてのお客様、取引先に感謝し恩に報いることを貫きます。また事業の地盤であるおごと温泉を含む滋賀の地域発展に貢献する事業活動を行い、利益を社会やお客様のために役立てるように誓い、以下の環境方針に基づいた環境保全活動に取り組みます。

「環境方針」

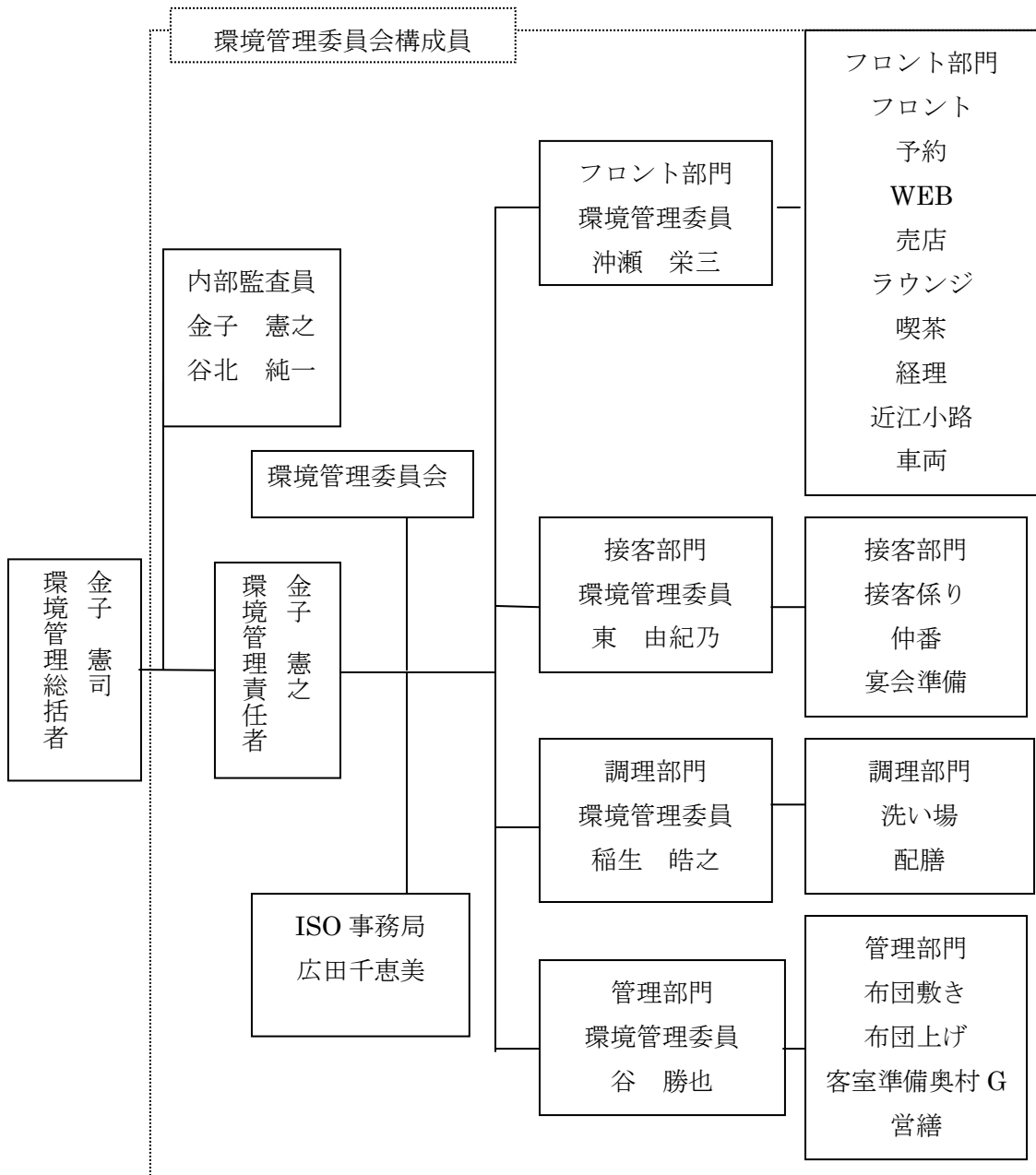
1. 我々は、宿泊者、来訪者への飲食、宿泊等の事業活動において、琵琶湖の地域環境を保護の観点を持ち、取り組みます。
2. 我々は、環境マネジメントシステムの継続的環境改善及び、汚染の予防を行います。
3. 我々は、環境側面に関係して適用可能な環境関連法規及び我々が同意するその他の要求事項を順守します。
4. 我々は、省エネルギー、廃棄物の削減などの環境目的目標を定めます。環境配慮型製品の購入を重点課題とします。
5. 我々は、組織で働く者及び業務を委託する事業者に、我々の環境方針及び環境活動を周知します。
6. 我々は、環境方針を文書化し、一般の方が入手できるようにホームページ上に公開します。

株式会社緑水亭（びわこ緑水亭）
代表取締役 金子憲司

会社概要

会社名 : 株式会社緑水亭
所在地 : 滋賀県大津市雄琴 6-1-6
事業内容 : 旅館業その他関連する事業すべて
代表取締役 : 金子 憲司
資本金 : 70,000,000 円
従業員数 : 98 人 8 時間換算
敷地面積 : 7,577 m²
延床面積 : 9,280 m²
沿革 : 平成 8 年 5 月会社設立
平成 17 年 11 月新館びわの風オープン
平成 21 年 9 月西館 5 階・6 階全面改装

I. 環境活動の取り組み体制



II. 認証取得内容

ISO 14001 取得

登録番号 EC06J0061

取得日 2006年7月10日

III. 環境活動の内容と実績

2009年度環境改善活動実績 2009年1月1日から2009年12月31日

削減目標値は、お客様1人あたりとしています

環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
年6回実施している微生物検査で毎月A判定80%以上	調理場の衛生管理 微生物検査	80%以上	87.9%	A
毎月（萬葉の客室給湯）（びわの風・西館客室空調・給湯）と全体の電気の合計前年比CO2使用量を15%増加に抑える	スイッチ適性管理	15%増 （客室に風呂を増築した為）	-4.5%	A
毎月萬葉客室・宴会場・西館宴会場の空調のCO2使用量を前年比1%削減	チェックリストの利用	-1%	-10.4%	A
毎月、大浴場の給湯ボイラーのCO2使用量を前年比1%削減	運転時間や設備の改善を含め検討	-1%	-20.0%	A
毎月施設全体のCO2排出量を前年対比1%削減	チェックリスト 空調・湯温の温度管理 設備改善検討	-1%	-22.4%	A
毎月、リサイクルを除く廃棄物1%を削減目標	廃棄物の分別を徹底 リサイクルを推進	-1%	-21.4%	A

IV. 具体的環境活動のご紹介

① 電気・ガススイッチチェックリスト

フロントで電気・ガスのスイッチに色別シールを貼って管理しています。シールの色事に on/off の時間を設定して、できているかどうかをチェックしています。

② ボイラーに水素酸混合ガス発生器取付

7 月から更なる CO₂ 削減のため、ボイラーにエコ設備を取り付ける検討、10 月 15 日から運転開始
今回導入するものは、ボイラーと冷温水発生器に設備を取り付け制御するものと、ボイラーの燃料効率を上げるものです。うまくいくと、今の 50% も燃料が削減できるそうです。

③ 全社員環境教育（4 月・10 月）

ISO14001 取得後毎年行っています環境自覚教育ですが、今年 4 月に「ISO14001 実践編計画の為のシステム」のビデオ、10 月にも「素敵な宇宙船地球号 最終回」のビデオを見て勉強しました。今年も全従業員約 150 人がビデオを見て感想文を書いてくれました。

④ 改装に伴うエコ設備

9 月 16 日にリニューアルオープンしますびわすみれ【風雅】の露天風呂で使う照明に通常の 1/10 以下の電力で明るくなる LED を採用しました。露天風呂の他にも、廊下やトイレにも採用しました。他にも客室入口やトイレの照明をセンサーにして、電力の無駄を省くことにしました。

④ 新型インフルエンザ対応

5 月 11 日新型インフルエンザの対策として消毒液による殺菌を入館時と退館時にできるように要請がありましたので、当館入り口に設置しました。客室には、全室クレベリンを設置しました。



V. 環境関連法規制の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を毎年 4 月に確認し、関係する機関や関係者からの指摘・訴訟等はありません。

VI. 2009 年度活動の評価と今後の課題

今回から、新しい目的目標での環境活動となりました。ISO を運用すること自体には主だった従業員たちが慣れてきましたので問題なくなってきましたが、パフォーマンスを発揮することが難しくなってきました。電気使用量・ガス使用量についても 3 年間でかなり下がってきましたので、これ以上の削減が難しくなってきました。効果を期待して導入した水素酸素混合ガスについても、今のところ不具合発生の為ほとんど効果を発揮していません。

年末の目的目標の見直しにおいて、プラン要因の目的目標を従業員から広く求めましたが、実現化のできそうなものはなく、採用には至りませんでした。最近滋賀地区で叫ばれています生物多様性の方向の目的目標を設定できるようにしたいと思います。廃棄物の削減についても分別しっかりされているようになりましたので、廃棄量が変わらなくなりつつあります。こちらにも新たな目標設定が必要かと思えます。

運用面では大きな問題はなくなってきましたので、今後新たな目的目標が必要と思えます。そのためには滋賀地区の旅館ホテルと連携して大きな意味ある環境活動を行いたいと思えます。

VII. 第 3 者の証明・意見

審査機関の証明

株式会社緑水亭様の環境マネジメントシステムは導入 4 年を経過し、環境負荷改善のために EMS を組織を挙げて推進及び見直しがされ、継続的改善活動が進められていることを確認いたしました。なお、3 件の改善の余地が確認されていますが、これらは審査の過程で合意を見えています。

JACO 審査チーム 冷泉 為弘